

72. 失語症患者のコミュニケーション能力の向上の手助け

グループ名 失語症会話サロンの会
代表者 玉井一恵

① 活動の目的

- ・失語症患者のコミュニケーション能力の向上。
- ・失語症患者の社会参加を促す。
- ・失語症患者が家にこもりがちで人と会うことを避けることを改善する。
- ・失語の症状が改善し、喜び、共感、達成感を感じて頂けたらと願う。

② 活動概要

患者は、外出の機会が極端に少ないため、行動半径が狭い。自然とのふれあいもほとんどない。季節を感じ、会話や共感を通して、こころの開放を得ることができる活動のひとつであるバス旅行は、失語症の改善に大きな効果がある。構成メンバーは、言語聴覚士と正式な講習を修了したボランティアがチームとして参加している。旅行でもスタッフが患者とペアを組み、患者に寄り添うことで患者とのコミュニケーションを図る。その際、言いたいことを声にだして言うまでに時間がかかるので、ゆっくりと寄り添う。紙に書いた文字や絵や地図を手掛かりに言いたいことを推量していく。

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支出	阿蘇(草千里)バス旅行 バス代(26人分)	22,564円
	高速料金 太宰府-熊本 6,830×2(往復)	13,660円
	天神北-大宰府 1,230×2(往復)	2,460円
	食事代 @1,620×26	42,120円
	写真代 2,496	2,496円
	飲料代 @160×26	4,160円
	伊万里バス小旅行 バス代(29人分)	5,650円
	高速料金 福岡-速代 IC	4,500円
	飲料代 @160×29	4,640円
	合計	102,250円



阿蘇（草千里）



失語症サロンの様子

